

セゾン資産形成の達人ファンド

運用報告書(全体版)

第9期(決算日 2015年12月10日)



■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類 信託期間	追加型投信/内外/資産複合 無期限
運用方針	一貫した「長期投資」という投資哲学に基づいて運用されているファンドへの投資を通じて、長期的な資産の成長を図ります。投資にあたっては、国内外の投資信託証券の中から、資産規模、運用実績、コストなどの面ならびにファンドの運用方針、投資態度をリサーチの上、投資を行います。原則として、為替ヘッジは行いません。
主要運用対象	有価証券に投資する国内外の投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	①外貨建資産への投資には制限を設けません。 ②投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ③投資信託証券ならびに短期金融資産以外の有価証券への直接投資は行いません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。当ファンドは、分配金再投資専用とします。収益分配金は、税金を差し引いた後、再投資されます。

受益者の皆さまへ

平素は「セゾン資産形成の達人ファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼を申し上げます。

当ファンドは2015年12月10日に第9期決算を行いましたので、当期の運用状況をまとめておりません。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を、変わらずに行って参りましたこと合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期投資の充実のため、引き続き努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。



セゾン投信

■お問合せ先

セゾン投信株式会社

〒170-6037 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 37F

[ホームページ] <http://www.saison-am.co.jp>

[電話番号] 03-3988-8668

[営業時間] 9:00~17:00(土日祝日、年末年始を除く)

ごあいさつ

セゾン投信が標榜する長期国際分散投資の理念・哲学を体現したアクティブ運用の「セゾン資産形成の達人ファンド」の第9期は、世界全体の株式市場が此の間若干のマイナスとなる中で、+6.48%と着実に超過収益を積み上げて、殊に夏場からの大きな相場下落以降での振幅激しい環境下において、しっかりとブレを抑制しながら当ファンドの本領を相応に発揮することが出来ました。

当該期間は米国の金融政策変更(利上げ)、新興国経済の低迷、原油安の進行、そして中国経済減速等々、日々の相場動向を揺さぶる材料が交錯して、過去2期の右肩上がり基調とは市場環境を違える、株価トレンドの転換期に在りましたが、決して悪くない世界経済の長期的成長軌道にしっかりコミットした事業を営む投資対象への厳選効果が、荒っぽくなった相場環境でも一定の価格水準を保ちつつ、相応にグローバルな成長軌道を捉えることが出来たと考えています。

日々の値動きは決して追うことなく、事業の本源的価値を見極め、地球経済のグローバリゼーションを前提とする長期安定成長軌道に専ら立脚した長期投資の愚直な実践の成果が、当ファンドには年を経るごとに結実しており、お蔭様で昨年は[R&Iファンド大賞2015最優秀ファンド賞]を2年連続で受賞すると共に、「リッパー・ファンド・アワード2015最優秀ファンド賞」の栄誉もいただくなど、セゾン投信の運用が客観的に高い評価を得られるまでにしっかり育てまいりました。

併せて当該期間中に、当ファンドの純資産残高は300億円を突破して、日本における稀有なグローバル長期投資ファンドとしてのプレゼンスも着実に大きくなって来ています。

米国経済の本格回復に伴って日・欧が追随する、先進国主導型世界経済の構造は、新興国経済のリシャッフルを通じた、新たなグローバリゼーション第二ステージの構築途上に入ったことで、金融市場は2016年も荒れ模様が想定されますが、長期的楽観を前提としたメガトレンドを見据えるセゾン投信のアクティブ運用には、その真価をしっかりと示せる環境と捉えております。

「セゾン号」乗客の皆さまには、長期投資の果実を着実に育てていただいていることに、乗務員一同感謝申し上げますと共に、第9期の運用状況を報告させていただきます。

代表取締役社長 中野 晴啓

◎受賞実績



セゾン資産形成の達人ファンド
**「R&Iファンド大賞2015」
 最優秀ファンド賞を受賞しました。**

格付投資情報センター (R&I) の選定する「R&I ファンド大賞 2015」において、「投資信託/外国株式部門」および「NISA (少額投資非課税制度)/外国株式部門」で「最優秀ファンド賞」を受賞しました。NISA部門の最優秀ファンド賞は、昨年に続く2年連続の受賞となります。



セゾン資産形成の達人ファンド
**「リッパー・ファンド・アワードジャパン2015」
 最優秀ファンド賞を受賞しました。**

トムソン・ロイターの投資信託情報サービスを提供しているリッパーの選定する「リッパー・ファンド・アワードジャパン2015」において、最優秀ファンド賞を受賞しました。
 評価期間「3年および5年」
 分類「ミックスアセット 日本円 フレキシブル」

運用担当者の紹介

セゾン資産形成の達人ファンドは、ファンド・オブ・ファンズの仕組みを活用して、世界の優れたリソースを活用しながら、日本の生活者の方の長期的資産形成に資することができるよう、不確実な市場の予想に頼ることなく、長期的なリターンと幅広い分散によるリスクの軽減を重視して、3人のチームで運用を行っています。

代表取締役社長、CIO(チーフインベストメントオフィサー)

中野 晴啓



主な役割 運用の基本的な方向性の指示

運用経験年数 25年

経歴

1987年 明治大学商学部卒業

1987年 株式会社クレディセゾン入社。セゾングループの金融子会社にて債券ポートフォリオを中心に資金運用業務に従事した後、投資顧問事業を立ち上げ運用責任者としてグループ資金の運用のほか外国籍投資信託をはじめとした海外契約資産等の運用アドバイスを手がける。その後、2006年セゾン投信を設立。2007年4月から現職。

運用部長、ポートフォリオマネジャー

瀬下 哲雄



主な役割 運用方針の決定、資産配分比率の決定、キャッシュフローの管理

運用経験年数 9年

経歴

1996年 上智大学経済学部経営学科卒業

2006年 セゾン投信入社、2007年3月のファンド設定時より運用を担当し、2011年よりポートフォリオマネジャー、2014年から現職。

運用部アナリスト

奥山 勉



主な役割 マクロ経済環境の調査、ファンドのリスク分析

運用経験年数 10年

経歴

1987年 早稲田大学政治経済学部経済学科卒業

1987年 株式会社クレディセゾン入社。クレディセゾン及びセゾングループでの投資業務等に従事した後、2011年からセゾン投信にて現職。

公益社団法人日本証券アナリスト協会検定会員
中央大学大学院国際会計研究科修了(ファイナンス)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		為替レート	投資信託							投資証券 組入比率	米国 オポチュニ ティ	T.ロウ ・グロース	T.ロウ ・バリユー	米国株式 集中投資	純資産総額	
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	米ドル /円		投資信託 受益証券 組入比率	コムジェスト ヨーロッパ	コムジェスト エマージング	TMA長期 投資ファンド	スパークス ・集中投資	スパークス ・長期厳選	コムモン 30ファンド							スパークス ・ワンアジア
第5期 (2011年12月12日)	円	円	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	百万円	
	6,403	-	△10.0	6,197	△11.5	77.68	56.2	26.6	11.6	2.8	4.7	4.4	6.0	-	40.5	24.8	7.7	8.0	-	4,479
第6期 (2012年12月10日)	7,955	-	24.2	7,574	22.2	82.55	58.8	28.0	11.7	2.9	4.8	5.8	5.7	-	38.7	23.7	7.4	7.6	-	6,604
第7期 (2013年12月10日)	12,743	-	60.2	11,597	53.1	103.35	56.7	25.7	11.6	2.9	5.2	6.0	5.4	-	42.8	26.5	8.4	7.9	-	11,577
第8期 (2014年12月10日)	15,960	-	25.2	14,568	25.6	119.46	55.1	27.1	13.9	2.8	4.6	6.6	-	-	41.7	25.2	8.3	8.2	-	19,448
第9期 (2015年12月10日)	16,995	-	6.5	14,448	△0.8	121.50	56.4	27.9	12.5	2.3	4.0	6.8	-	2.9	42.5	22.9	9.9	-	9.7	29,930

- ・基準価額は1万口当たりです。
- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。参考指数は、設定日(2007年3月15日)の値を10,000として委託会社が計算したものです。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。
- ・組入比率は、対純資産総額です。騰落率、組入比率は、小数点第2位を四捨五入しています。
- ・為替レート(米ドル/円)は、わが国の対顧客電信売買仲値を利用してしています。
- ・純資産総額の単位未満は、切捨てて表示しております。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		参考指数		投資信託 受益証券 組入比率	コムジェスト ヨーロッパ	コムジェスト エマージング	TMA長期 投資ファンド	スパークス ・集中投資	スパークス ・長期厳選	スパークス ・ワンアジア	投資証券 組入比率	米国 オポチュニ ティ	T.ロウ ・グロース	T.ロウ ・バリユー	米国株式 集中投資
	円	%	期中 騰落率	期中 騰落率												
(期首) 2014年12月10日	15,960	-	14,568	-	55.1	27.1	13.9	2.8	4.6	6.6	-	41.7	25.2	8.3	8.2	-
12月末	16,070	0.7	14,697	0.9	54.7	26.6	13.9	2.8	4.7	6.7	-	42.1	25.4	8.6	8.1	-
2015年 1月末	15,678	△1.8	14,183	△2.6	55.7	26.6	14.6	2.9	4.8	6.8	-	41.0	25.0	8.5	7.5	-
2月末	16,619	4.1	15,010	3.0	55.5	26.9	14.1	2.9	4.8	6.8	-	41.6	25.4	8.8	7.4	-
3月末	16,573	3.8	14,869	2.1	55.5	26.5	13.3	2.9	4.8	7.1	0.9	41.3	24.9	8.7	5.5	2.2
4月末	17,095	7.1	15,371	5.5	57.3	27.3	13.6	2.9	4.7	7.0	1.9	39.5	23.4	8.5	2.2	5.4
5月末	17,681	10.8	15,884	9.0	57.5	27.5	13.0	2.8	4.6	6.9	2.7	40.6	23.7	8.8	-	8.1
6月末	17,413	9.1	15,555	6.8	56.9	27.2	12.7	2.7	4.5	7.0	2.9	41.4	23.4	9.1	-	8.9
7月末	17,602	10.3	15,521	6.5	56.4	27.6	12.2	2.6	4.2	7.0	2.9	42.1	22.6	9.8	-	9.7
8月末	16,381	2.6	14,198	△2.5	56.4	27.5	12.4	2.5	4.1	7.0	2.9	42.1	22.5	9.8	-	9.7
9月末	15,317	△4.0	13,337	△8.5	56.7	27.9	12.7	2.4	4.0	6.7	3.0	41.7	22.2	9.7	-	9.8
10月末	16,825	5.4	14,788	1.5	56.1	27.3	12.7	2.3	4.0	6.9	2.9	42.4	22.7	10.0	-	9.7
11月末	17,191	7.7	14,934	2.5	56.0	27.3	12.7	2.3	3.9	6.9	2.9	42.6	22.9	9.9	-	9.8
(期末) 2015年12月10日	16,995	6.5	14,448	△0.8	56.4	27.9	12.5	2.3	4.0	6.8	2.9	42.5	22.9	9.9	-	9.7

- ・騰落率は期首比です。

当期の運用状況と今後の運用方針

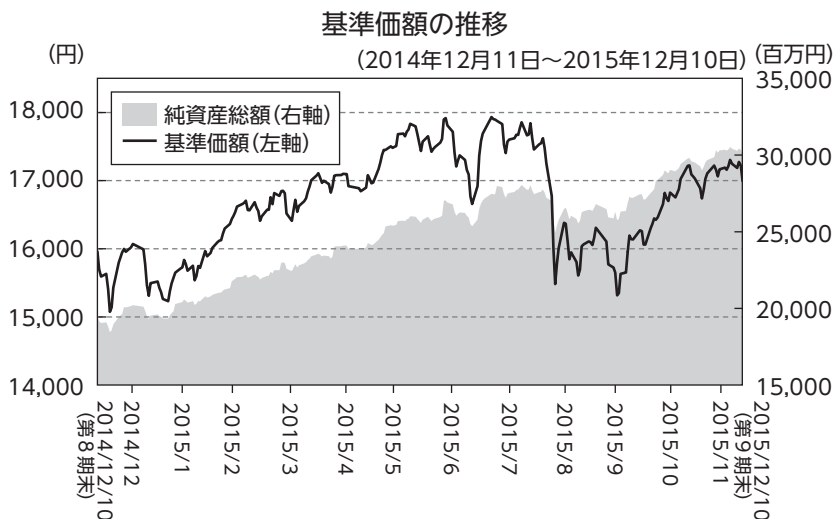
期中の基準価額等の推移

当ファンドの第9期(2014年12月11日～2015年12月10日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額の推移は、2014年12月17日に15,073円の最安値を、2015年7月21日に17,933円の最高値を付け、当期末の基準価額は16,995円となりました。設定から当期末までの基準価額の騰落率は69.95%、当期の騰落率は6.48%でした。

【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安値	15,073円	2014年12月17日
高値	17,933円	2015年7月21日



- ・当ファンドには、ベンチマークはありません。
- ・分配を行っていないため、分配金再投資基準価額は表示しておりません。
表示されている基準価額が、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものとなります。
- ・上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

【基準価額の主な変動要因】

当期は、「ニッポンコムジェスト・ヨーロッパファンドSA〈適格機関投資家限定〉」、「バンガード®米国オポチュニティファンド」、「スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉」、「T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド」、「スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉」、「TMA長期投資ファンド〈適格機関投資家限定〉」が銘柄選択効果により、ベンチマークや参考指数を上回って上昇し基準価額の上昇要因となりました。2015年5月までに全額を売却した「T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・バリュウ・エクイティ・ファンド」も市場が堅調に推移する中でベンチマークと同程度に上昇し、基準価額の上昇に寄与しました。また、為替も対ドルで円安が進行し、基準価額の上昇に寄与しました。

一方で、新興国と太平洋地域の株式市場が軟調に推移するなかで、「ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットファンドSA〈適格機関投資家限定〉」は、銘柄選択効果により参考指数よりも小さい下落に留まったものの、基準価額の下落要因となったほか、2015年3月から組入れを開始した「スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS〈適格機関投資家限定〉」も銘柄選択効果により参考指数よりも小さい下落に留まったものの、基準価額の下落要因となりました。また、2015年3月から組入れを開始した「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ」は組入れ後の米国の株式市場がやや軟調に推移する中でベンチマークよりもやや小幅ながら下落し、基準価額の下落要因となりました。

< 基準価額のプラス要因 >

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA〈適格機関投資家限定〉(円)
バンガード米国オポチュニティファンド(米ドル)
スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉(円)
T.ロウ・プライス・ファンズSICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド(米ドル)
スパークス・集中投資・日本株ファンドS〈適格機関投資家限定〉(円)
対ドルでの為替レート(円安)
TMA長期投資ファンド〈適格機関投資家限定〉(円)
T.ロウ・プライス・ファンズSICAV-USラージキャップ・バリュウ・エクイティ・ファンド(米ドル)※

※2015年5月までに全額を売却

期中騰落率
6.5%

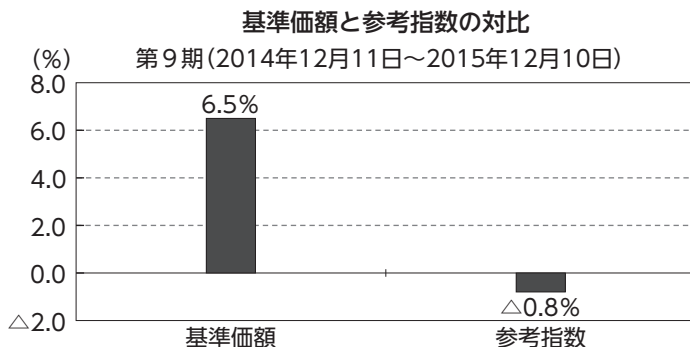
アライアンス・バーンスタインSICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ(米ドル)※
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS〈適格機関投資家限定〉(円)※
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA〈適格機関投資家限定〉(円)

※2015年3月から組入れ開始

< 基準価額のマイナス要因 >

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の当期の騰落率の対比です。



- ・当ファンドにはベンチマークがないため、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数のMSCIオールカントリー・ワールド・インデックス(配当込)を参考指数として記載しております。
- ・参考指数は、基準価額への反映を考慮して、2営業日前のものに、当日のわが国の対顧客電信売買仲値を利用して円換算しております。

当ファンドの運用経過と結果

当期も引き続き、株式への投資比率を高位に保ち、幅広く国際分散投資を行うことを基本に、市場の行き過ぎを活用することを意識しながら地域別の資産配分を行いました。

当期は、3月に長期視点に基づいた個別の銘柄選択を一段と重視する運用方針の下で、質を伴った高い成長が期待できる米国企業への集中投資を行う「アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイトッドUSエクイティ・ポートフォリオ」への投資を開始し、3月から5月にかけて「T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・バリュ・エクイティ・ファンド」を全額売却しました。また、同じく3月には、アジア地域及び太平洋地域へも幅広く分散投資を行うことを目的として、太平洋地域やアジア地域の質の高い企業に集中投資を行う「スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS〈適格機関投資家限定〉」への投資を開始しました。さらに6月には、柔軟な資産配分比率の調整を行う「TMA長期投資ファンド〈適格機関投資家限定〉」の目標投資比率を引き下げて以降の投資を見送ることに致しました。

上記以外では、各ファンドの目標投資比率は固定とし、積立やスポットでのご購入により皆様からお預かりした資金を利用して、為替市場や株式市場の動向により相対的に組入比率が低めとなったファンドの購入を行ったほか、5月以降は投資先ファンドがより保守的な構成となったことに対応して、現金比率を若干引き下げました。

期末の地域別の投資比率は、前期末と比較してアジアを含む新興国及び太平洋地域の比率が上昇する一方で日本株式への投資比率が低下し、米国と欧州の比率はほぼ同じ水準となりました。

投資環境

【株式市場の概況】

大規模な金融緩和政策が実施されているにも関わらず、先進国の景気が力強さを欠くなかで、中国で成長鈍化への懸念が高まったこときっかけに先行きへの不透明感が高まったことから、株式市場は全般的に力強さを欠く展開となりました。

米国の株式市場は、米国の景気は他の地域と比べると堅調なものの、利上げ観測の高まりを受けたドル高の影響により企業収益が伸び悩むなど力強さを欠く状況となったことから、方向感の無い展開となりました。

欧州の株式市場は、ギリシャの債務問題への懸念が高まり動揺する局面もあったものの、ユーロ圏で金融緩和が拡大し、それに伴ってユーロ安が進行するなかで、企業収益の改善期待が高まったこともあり、ユーロ圏の株式市場を中心に上昇しました。

日本の株式市場は、国内の景気に力強さは無いものの、欧米の株式市場よりも割安感があったことや企業の利益率の改善期待が高まったことを受けて、上昇しました。

アジア・太平洋地域の株式市場は、経済的な結び付きが強い中国で経済の減速懸念が強まったことを背景に力強さを欠く展開となりました。

新興国の株式市場は、中国経済の減速懸念が高まり、資源価格も下落基調となるなかで、景気の先行きへの悲観的な見方が広がったほか、米国で利上げ観測が高まったことを受けて資金流出への懸念が強まり、下落しました。

【為替市場の概況】

為替市場では、米国経済の状況が他の地域と比べて相対的に良好な中で、利上げが意識されたことを受けてドルが上昇基調となる一方で、欧州中央銀行(ECB)が国債の購入を含む金融緩和の拡大策を打ち出し、金利が大きく低下したことを受けてユーロが下落しました。円は物価上昇観測が後退するなかでも日本銀行が追加の金融緩和策を打ち出さず、金融緩和の拡大観測がやや後退したことから堅調な展開となり、対ドルでは円安となったものの、対ユーロでは大幅な円高となりました。

また、資源価格の下落とそれに伴う景気の低迷を受けてブラジルリアルや南アフリカランドなどの資源国通貨が大きく下落しました。

組入ファンドと為替レートの動き

バンガード米国オポチュニティファンド(米ドル建て)

バンガード米国オポチュニティファンドの当期の騰落率^{*1}は、+6.47%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークである「ラッセル3,000種指数(配当込)」の騰落率は+1.83%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はバンガード米国オポチュニティファンドの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっており、バンガード米国オポチュニティファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での2営業日前のものを利用しています。
- *2 バンガード米国オポチュニティファンドの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、「ラッセル3000種指数(配当込)」の騰落率は、当ファンドでの計算期間の2営業日前のものを利用しています。



T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・バリュー・エクイティ・ファンド(米ドル建て)

T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・バリュー・エクイティ・ファンドの前期末(2014年12月10日)から組入れ終了日(2015年5月20日)までの基準価額の騰落率^{*1}は、+2.92%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークである「ラッセル1000種バリュー株指数(配当込)」の騰落率は+2.66%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はT. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・バリュー・エクイティ・ファンドの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・バリュー・エクイティ・ファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での1営業日前のものを利用しています。
- *2 T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・バリュー・エクイティ・ファンドの評価額は当日の市場のヨーロッパ中央時間の午後1時に取得可能な時価を基に算出することとなっておりますので、「ラッセル1000種バリュー株指数(配当込)」の騰落率は、当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。



T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド(米ドル建て)

T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンドの当期の騰落率^{*1}は、+13.60%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークである「ラッセル1,000種グロース株指数(配当込)」の騰落率は+5.97%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はT. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンドの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンドの騰落率は当ファンドの計算期間での1営業日前のものを利用しています。
- *2 T. ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンドの評価額は当日の市場のヨーロッパ中央時間の午後1時に取得可能な時価を基に算出することとなっておりますので、「ラッセル1000種グロース株指数(配当込)」の騰落率は、当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。



アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ(米ドル建て)

アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの組入れ開始日(2015年3月23日)から期末までの騰落率^{*1}は、-1.03%でした。対応する期間^{*2}のベンチマークである「S&P500指数(配当込・税引後)」の騰落率は-1.83%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はアライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの騰落率は当ファンドの計算期間での1営業日前のものを利用しています。
- *2 アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオの評価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、「S&P500指数(配当込・税引後)」の騰落率は、当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。



ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)(円建て)

ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は、+9.08%でした。対応する期間^{*2}の「MSCIヨーロッパ・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)」の騰落率は-4.35%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。
- *2 ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)の基準価額は前日の市場の終値と当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出することとなっておりますので、「MSCIヨーロッパ・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)」の騰落率は、当ファンドでの計算期間の2営業日前の市場の終値と1営業日前の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。



ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)(円建て)

ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は、-8.63%でした。対応する期間^{*2}の「MSCIエマージングマーケット・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)」の騰落率は-15.24%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。
- *2 ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)の基準価額は前日の市場の終値と当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出することとなっておりますので、「MSCIエマージングマーケット・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)」の騰落率は、当ファンドでの計算期間の2営業日前の市場の終値と1営業日前の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。



スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS(適格機関投資家限定)(円建て)

スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS(適格機関投資家限定)の組入れ開始日(2015年3月24日)から期末までの騰落率^{*1}は、-8.11%でした。対応する期間^{*2}の「MSCIアジア太平洋(日本を除く)インデックス(円建て換算・配当込・税引後)」の騰落率は-12.22%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はスパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS(適格機関投資家限定)の前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS(適格機関投資家限定)の騰落率は当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。
- *2 スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS(適格機関投資家限定)の基準価額は前日の市場の終値と当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出することとなっておりますので、「MSCIアジア太平洋(日本を除く)・インデックス(円建て換算・配当込・税引後)」の騰落率は、当ファンドでの計算期間の2営業日前の値と1営業日前の投資信託協会発表の評価用為替レートを基に算出しています。



TMA長期投資ファンド(適格機関投資家限定)(円建て)

TMA長期投資ファンド(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は、+9.44%でした。

- * 当ファンドの基準価額の算定はTMA長期投資ファンドの前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、TMA長期投資ファンドの騰落率は当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。



スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)(円建て)

スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)の当期の基準価額の騰落率^{*1}は、+16.01%でした。対応する期間^{*2}の東証株価指数 [TOPIX] (配当込)の騰落率は+10.40%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はスパークス・集中投資・日本株ファンドSの前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、スパークス・集中投資・日本株ファンドSの騰落率は当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。
- *2 スパークス・集中投資・日本株ファンドSの基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、日経平均株価と東証株価指数 [TOPIX] (配当込)の騰落率は、当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。



スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉(円建て)

スパークス・長期厳選・日本株ファンド〈適格機関投資家限定〉の当期の基準価額の騰落率^{*1}は、+22.58%でした。対応する期間^{*2}の東証株価指数 [TOPIX] (配当込)の騰落率は+10.40%でした。

- *1 当ファンドの基準価額の算定はスパークス・長期厳選・日本株ファンドの前営業日の基準価額を基に行う仕組みとなっておりますので、スパークス・長期厳選・日本株ファンドの騰落率は当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。
- *2 スパークス・長期厳選・日本株ファンドの基準価額は当日の市場の終値を基に算出することとなっておりますので、東証株価指数 [TOPIX] (配当込)の騰落率は、当ファンドでの計算期間の1営業日前のものを利用しています。



為替レートの推移

当期の対米ドルの為替レートは、1.71%の円安(ファンドの基準価額にはプラスの影響)^{*}でした。

- * 当ファンドの外貨建て資産の基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので為替レートの変化率は、当ファンドの計算期間の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。



今後の運用方針

先進国では低成長への懸念が拡がり、新興国では景気の先行きに対する悲観的な見方が広がっていますが、このような状況においてこそ、個別の企業に焦点を当て、長期的な視点で分析を行うことでリスクを軽減しながら、悲観的な見方が広がっている国や地域の企業を含めて継続的に投資を行っていくことが将来の成果に繋がるものと考えております。

引き続き、投資先ファンドを通じて安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行った上で株式への投資比率を高位に保ち、株式の時価総額や純資産額(株主資本の額)等を勘案して、幅広く国際分散投資を行うことを基本に、市場の行き過ぎを活用することを意識しながら地域別の資産配分を行って参ります。

また、来期には、新規ファンドの組入れを行う予定としておりますので、準備が整った時点で、受益者の皆様にご案内させていただきます。

運用部長 瀬下 哲雄

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については見送りとさせていただきます。なお、留保金につきましては、元本部分と同様の運用を行って参ります。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第9期
	2014年12月11日～2015年12月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,118

・対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2014年12月11日~2015年12月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	97円 (54) (36) (7)	0.581% (0.323) (0.216) (0.042)	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 ・ 委託した資金の運用の対価 ・ 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 ・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (監査費用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.006 (0.006) (0.000)	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ ・ 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ その他は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・移転等に要する費用
合 計	98	0.587	
期中の平均基準価額は16,699円です。			

- ・ 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・ 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
- ・ 財産維持手数料は当期は発生しておりません。
- ・ 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。
- ・ 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

期中の売買及び取引の状況 (2014年12月11日から2015年12月10日まで)

投資信託受益証券		買付 金額	売付 金額
		千円	千円
国	ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)	2,490,000	-
	ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)	1,320,000	-
内	スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS(適格機関投資家限定)	950,000	-
	TMA長期投資ファンド(適格機関投資家限定)	85,000	-
	スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	125,000	-
	スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	420,000	-
投資証券		買付 金額	売付 金額
外	アメリカ バンガード米国オポチュニティファンド	千米ドル 12,400	千米ドル -
	国	T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	8,650
T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・パリュール・エクイティ・ファンド		-	13,606
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ		24,100	-

・金額は受渡し代金です。

・千単位未満は切捨てて表示しております。

利害関係人との取引状況等 (2014年12月11日から2015年12月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人は該当ありません。

第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況 (2014年12月11日から2015年12月10日まで)

該当事項はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2014年12月11日から2015年12月10日まで)

該当事項はありません。

組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組入れた円建てファンドの明細 (2015年12月10日現在)

ファンド名	当 期 末			
	単位数又は口数	評 価 額	比 率	
株式ファンド				
	千口	千円	%	
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)	4,371,659	8,352,930	27.9	
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)	2,583,881	3,728,283	12.5	
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS(適格機関投資家限定)	946,824	870,036	2.9	
TMA長期投資ファンド(適格機関投資家限定)	388,711	694,860	2.3	
スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)	389,308	1,192,062	4.0	
スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)	658,001	2,036,581	6.8	
小 計	口 数 ・ 金 額	9,338,387	16,874,755	56.4
	銘 柄 数	6	-	
合 計	口 数 ・ 金 額	9,338,387	16,874,755	56.4
	銘 柄 数	6	-	

- ・千単位未満は切捨てて表示しております。
- ・比率は、純資産総額に対する評価額の比率です。
- ・比率は小数点第2位を四捨五入しています。

ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建てファンドの明細 (2015年12月10日現在)

ファンド名	単 位 数 又は口数	当 期 末		比 率	
		外貨建金額	邦貨換算金額		
株式ファンド					
	千口	千米ドル	千円	%	
バンガード米国オポチュニティファンド	99	56,505	6,865,473	22.9	
T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド	779	24,428	2,968,095	9.9	
アライアンス・パーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ	1,369	23,781	2,889,500	9.7	
小 計	口 数 ・ 金 額	2,248	104,716	12,723,069	42.5
	銘 柄 数	3	-	-	
合 計	口 数 ・ 金 額	2,248	104,716	12,723,069	42.5
	銘 柄 数	3	-	-	

- ・邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
- ・千単位未満は切捨てて表示しております。
- ・比率は、純資産総額に対する各通貨の投資証券評価額の比率です。
- ・比率は小数点第2位を四捨五入しています。

投資信託財産の構成

(2015年12月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	16,874,755	56.1
投 資 証 券	12,723,069	42.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	463,905	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	30,061,729	100.0

- ・金額の千円未満は切捨てて表示しております。比率は小数点第2位を四捨五入しています。
- ・当期末における外貨建資産(12,723,069千円)の投資信託財産総額(30,061,729千円)に対する比率は42.3%です。
- ・外貨建純資産は、期末の時価を我国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。当期末における邦貨換算レートは1米ドル=121.50円です。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

当期末2015年12月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	30,061,729,960円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	463,905,087
投資信託受益証券(評価額)	16,874,755,287
投資証券(評価額)	12,723,069,586
(B) 負 債	131,168,802
未 払 解 約 金	50,369,832
未 払 信 託 報 酬	80,311,641
そ の 他 未 払 費 用	487,329
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	29,930,561,158
元 本	17,611,585,976
次 期 繰 越 損 益 金	12,318,975,182
(D) 受 益 権 総 口 数	17,611,585,976口
1万口当たり基準価額 (C/D)	16,995円

期首元本	12,185,590,729円
期中追加設定元本額	7,562,730,952円
期中一部解約元本額	2,136,735,705円
1口当たり純資産額	1.6995円

- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

損益の状況

当期自2014年12月11日 至2015年12月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	61,135円
受 取 利 息	61,135
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,422,905,323
売 買 益	1,967,823,239
売 買 損	△544,917,916
(C) 信 託 報 酬 等	△145,642,160
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	1,277,324,298
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	5,761,043,645
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,280,607,239
(配 当 等 相 当 額)	7,258,810,438
(売 買 損 益 相 当 額)	△1,978,203,199
(G) 合 計 (D + E + F)	12,318,975,182
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	12,318,975,182
追 加 信 託 差 損 益 金	5,280,607,239
(配 当 等 相 当 額)	7,258,810,438
(売 買 損 益 相 当 額)	△1,978,203,199
分 配 準 備 積 立 金	7,038,367,943
繰 越 損 益 金	-

- ・(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- ・(C)信託報酬等には信託報酬に関わる消費税等を含めて表示しています。
- ・(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- ・当運用報告書作成時点では監査未了です。

お知らせ

当期中の約款変更について

2014年12月11日から2015年12月10日までの期間に実施した約款変更は以下の通りです。

- 2015年3月10日付
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款にて別に定める「運用の基本方針」に所要の変更を行いました。
- 2015年9月10日付
投資対象ファンドの変更に伴い、投資信託約款にて別に定める「運用の基本方針」に所要の変更を行いました。

<組入投資対象ファンドの内容>

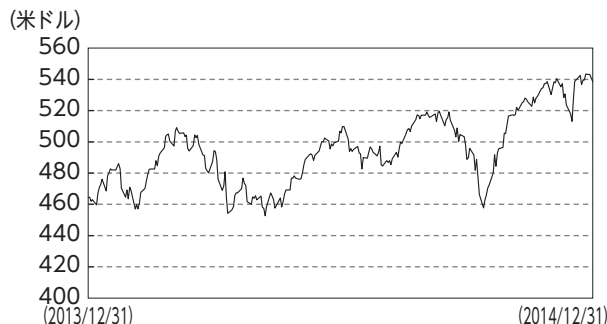
以下は、当ファンドが投資対象としている投資信託受益証券ならびに投資証券の運用状況です。

- ・特に指定がない場合、投資比率、構成比率は、ファンドの純資産総額に対する当該資産の評価金額の比率です。
- ・特に指定がない場合、日本株式の業種は東証33業種分類、外国株式の業種は世界産業分類基準による分類を記載しています。

1. バンガード米国オポチュニティファンド

現時点で入手できる直近の情報として2014年12月31日現在の情報を記載しております。

■基準価額の推移



■費用明細

(2014年12月31日現在)

ファンド財産維持手数料率		運用管理費率 (年率)(%)
購入時	解約時	
なし	なし	0.85

- ・運用管理費率は、平均純資産総額に対する運用及び管理等にかかる費用の総額の割合を示したものです。

■組入上位10銘柄

(2014年12月31日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	Eli Lilly & Co.	ヘルスケア	2.9
2	Southwest Airlines Co.	資本財・サービス	2.7
3	Delta Air Lines Inc.	資本財・サービス	2.4
4	L Brands Inc.	一般消費財・サービス	2.3
5	Tuesday Morning Corp.	一般消費財・サービス	2.2
6	Charles Schwab Corp.	金融	2.1
7	Pharmacyclics Inc.	ヘルスケア	2.1
8	Dyax Corp.	ヘルスケア	2.1
9	Seattle Genetics Inc.	ヘルスケア	2.1
10	ABIOMED Inc.	ヘルスケア	2.0
組入銘柄数		185銘柄	

■業種別構成比率

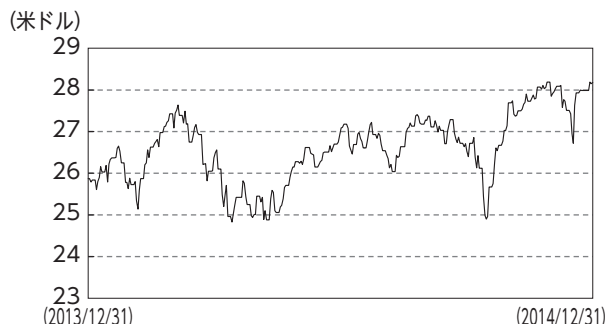
資産の種類	業種	構成比率(%)
株式	ヘルスケア	32.3
	情報技術	27.7
	資本財・サービス	18.1
	一般消費財・サービス	12.8
	金融	5.4
	エネルギー	1.5
	素材	1.2
	生活必需品	1.0

- ・構成比率は、ファンドの投資資産に対する当該資産の評価金額の比率です。

2. T.ロウ・プライス・ファンズSICAV-USラージキャップ・グロース・エクイティ・ファンド

現時点で入手できる直近の情報として2014年12月31日現在の情報を記載しております。

■基準価額の推移



■費用明細

(2014年12月31日現在)

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)(%)
なし	なし	0.65

■組入上位10銘柄

(2014年12月31日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	VISA INC-CLASS A	情報技術	4.4
2	PRICELINE GROUP INC	一般消費財・サービス	4.3
3	AMAZON COM INC	一般消費財・サービス	4.0
4	GOOGLE INC CL A	情報技術	3.6
5	GOOGLE INC CL C	情報技術	3.4
6	BOEING COMPANY	資本財・サービス	3.4
7	DANAHER CORP	資本財・サービス	3.3
8	MCKESSON CORP	ヘルスケア	3.2
9	AMERICAN AIRLINES GROUP INC	資本財・サービス	2.9
10	ALEXION PHARMACEUTICAL	ヘルスケア	2.6
組入銘柄数		71銘柄	

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)
株式	ヘルスケア	24.2
	一般消費財・サービス	22.6
	情報技術	21.8
	資本財・サービス	17.5
	金融	5.7
	エネルギー	3.6
	素材	2.8
	生活必需品	1.0

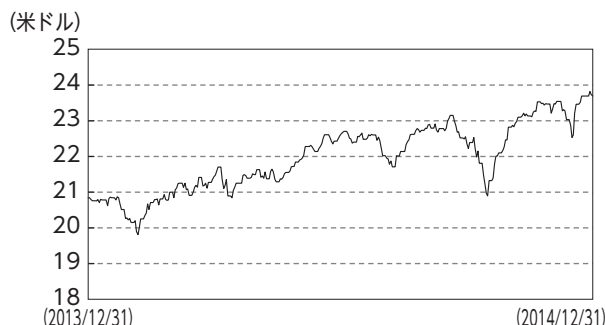
■国・地域別構成比率

国/地域	構成比率(%)
アメリカ	97.8
カナダ	2.1

3. T.ロウ・プライス・ファンズSICAV-USラージキャップ・バリュースケイティ・ファンド

現時点で入手できる直近の情報として2014年12月31日現在の情報を記載しております。

■基準価額の推移



■費用明細

(2014年12月31日現在)

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)(%)
なし	なし	0.65

■組入上位10銘柄

(2014年12月31日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	J.P.MORGAN CHASE & CO.	金融	3.4
2	BANK OF AMERICA CORP	金融	2.5
3	GENERAL ELECTRIC CO	資本財・サービス	2.5
4	UNITED TECHNOLOGIES	資本財・サービス	2.4
5	PFIZER INC	ヘルスケア	2.4
6	MORGAN STANLEY	金融	2.4
7	LOWES COMPANIES INC	一般消費財・サービス	2.3
8	MERCK & CO	ヘルスケア	2.2
9	CARNIVAL CORPORATION PAIRED CERTIFICATE	一般消費財・サービス	2.1
10	CELANESE CORP SERIES A	素材	2.1
	組入銘柄数	71銘柄	

■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)
株式	金融	24.1
	資本財・サービス	17.4
	一般消費財・サービス	11.4
	ヘルスケア	10.9
	エネルギー	8.8
	公益事業	7.5
	情報技術	7.2
	生活必需品	5.3
	素材	3.8
	電気通信サービス	1.0

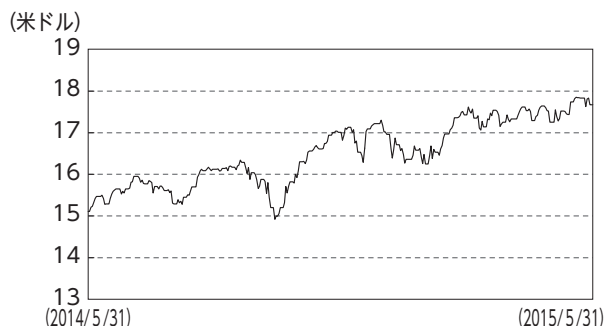
■国・地域別構成比率

国/地域	構成比率(%)
アメリカ	95.7
カナダ	1.7

4. アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイテッドUSエクイティ・ポートフォリオ

現時点で入手できる直近の情報として2015年5月31日現在の情報を記載しております。

■基準価額の推移



■費用明細

(2015年5月31日現在)

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬(年率)(%)
なし	なし	0.85

■組入上位10銘柄

(2015年5月31日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	Charles Schwab Corp.	金融	6.7
2	Quintiles Transnational Holdings	ヘルスケア	6.7
3	Zoetis, Inc.	ヘルスケア	6.2
4	Ecolab, Inc.	素材	6.1
5	Abbott Laboratories	ヘルスケア	5.8
6	Amphenol Corp. - Class A	情報技術	5.7
7	Apple, Inc.	情報技術	5.0
8	Vesisk Analytics, Inc. - Class A	資本財・サービス	5.0
9	MasterCard, Inc. - Class A	情報技術	4.9
10	Sensata Technologies Holdings NV	資本財・サービス	4.8
組入銘柄数		21銘柄	

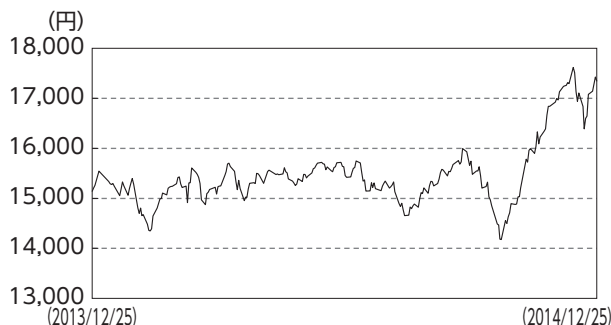
■業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)
株式	ヘルスケア	23.1
	情報技術	22.2
	一般消費財・サービス	19.8
	資本財・サービス	18.6
	金融	6.7
	素材	6.1
	生活必需品	3.6

5. ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)

現時点で入手できる直近の情報として2014年12月25日現在の情報を記載しております。

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2013年12月26日～2014年12月25日)

項 目	金 額	比 率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	167円 (100) (50) (17)	1.08% (0.65) (0.32) (0.11)
(b) 売買委託手数料 (株)	13 (13)	0.08 (0.08)
(c) 有価証券取引税 (株)	8 (8)	0.05 (0.05)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他1)	14 (12) (2) (0)	0.09 (0.08) (0.01) (0.00)
合 計	202	1.30
期中の平均基準価額は15,475円です。		

- ・(その他1)外国株式に関する各種手数料等
- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・消費税は報告日の税率を採用しています。
- ・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■組入ファンド

	当 期 末	
	口 数	評価額
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド	千口 3,417,029	千円 6,343,032

- ・口数・評価額の単位未満は切捨てています。

<ご参考> ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細

(2013年12月26日～2014年12月25日)

項目	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式会社)	13円 (13)	0.08% (0.08)
(b) 有価証券取引税 (株式会社)	8 (8)	0.05 (0.05)
(c) その他費用 (保管費用)	13 (12)	0.08 (0.08)
(その他1)	(0)	(0.00)
合計	34	0.21

期中の平均基準価額は16,466円です。

- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 組入上位10銘柄

(2014年12月25日現在)

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	6.1
2	ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	ヘルスケア	5.2
3	BAYER AG-REG	ドイツ	ヘルスケア	4.0
4	ARM HOLDINGS PLC	イギリス	情報技術	4.0
5	CAPITA PLC	イギリス	資本財・サービス	4.0
6	SARTORIUS STEDIM BIOTECH	フランス	ヘルスケア	3.9
7	L'OREAL	フランス	生活必需品	3.9
8	HENNES & MAURITZ AB-B SHS	スウェーデン	一般消費財・サービス	3.7
9	ZODIAC AEROSPACE	フランス	資本財・サービス	3.6
10	SODEXO	フランス	一般消費財・サービス	3.4
	組入銘柄数		34銘柄	

- ・投資比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価総額の比率です。
- ・国/地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

■ 国・地域別構成比率

資産の種類	国/地域	構成比率(%)
株式	フランス	29.4
	ドイツ	13.0
	スイス	12.9
	イギリス	9.9
	スペイン	9.3
	デンマーク	8.9
	スウェーデン	4.5
	アメリカ	2.0
	オランダ	2.0

- ・構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国/地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

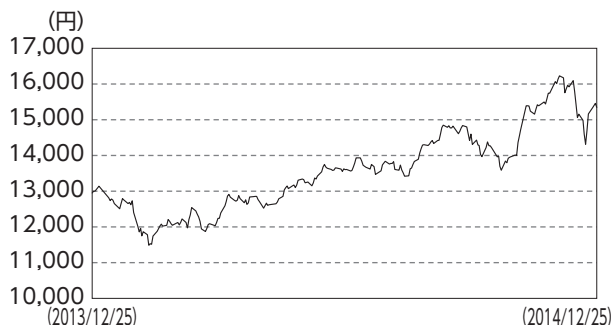
■ 業種別構成比率

資産の種類	業種	構成比率(%)
株式	ヘルスケア	27.5
	情報技術	16.0
	一般消費財・サービス	15.7
	資本財・サービス	13.9
	生活必需品	12.7
	素材	5.5
	エネルギー	2.0
	電気通信サービス	1.6

6. ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)

現時点で入手できる直近の情報として2014年12月25日現在の情報を記載しております。

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2013年12月26日～2014年12月25日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	146円 (87) (44) (15)	1.08% (0.65) (0.32) (0.11)
(b) 売買委託手数料 (株)	16 (16)	0.12 (0.12)
(c) 有価証券取引税 (株)	5 (5)	0.03 (0.03)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他 1) (その他 2)	29 (22) (1) (1) (4)	0.22 (0.17) (0.01) (0.01) (0.03)
合計	196	1.45

期中の平均基準価額は13,556円です。

- ・各期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。
信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
- ・消費税は報告日の税率を採用しています。
- ・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■組入ファンド

	当期末	
	口数	評価額
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	千口 3,545,816	千円 5,816,912

- ・口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

— <ご参考> ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド —

■ 1万口当たりの費用明細

(2013年12月26日～2014年12月25日)

項目	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	17円 (17)	0.12% (0.12)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	5 (5)	0.03 (0.03)
(c) その他費用 (保 管 費 用)	29 (24)	0.20 (0.17)
(そ の 他 1)	(1)	(0.01)
(そ の 他 2)	(5)	(0.03)
合 計	51	0.36
期中の平均基準価額は14,416円です。		

- ・各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を各期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■ 組入上位10銘柄

(2014年12月25日現在)

	銘柄名称	国/地域	業 種	投資比率(%)
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	情報技術	6.9
2	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	金融	6.4
3	CHINA MOBILE LTD	中国	電気通信サービス	5.1
4	INFOSYS LTD-SP ADR	インド	情報技術	4.5
5	MTN GROUP LTD	南アフリカ	電気通信サービス	4.4
6	SANLAM LTD	南アフリカ	金融	3.5
7	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	公益事業	3.5
8	HUTCHISON WHAMPOA LIMITED	香港	資本財・サービス	3.4
9	NETEASE INC ADR	中国	情報技術	3.1
10	MEDIATEK INC	台湾	情報技術	2.9
組入銘柄数			38銘柄	

- ・投資比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価総額の比率です。
- ・国/地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

■ 国・地域別構成比率

資産の種類	国/地域	構成比率(%)
株式	中国	19.3
	インド	15.0
	ブラジル	15.0
	台湾	9.9
	南アフリカ	9.0
	香港	5.2
	ロシア	4.3
	メキシコ	4.1
	韓国	2.8

- ・構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国/地域は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

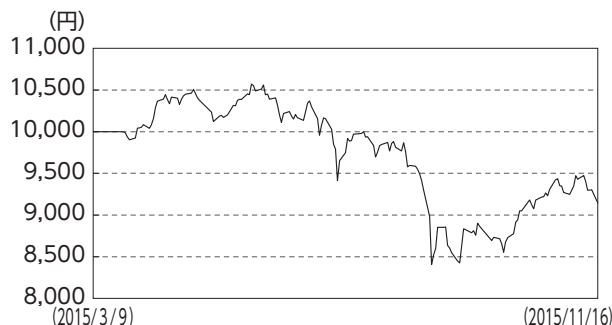
■ 業種別構成比率

資産の種類	業 種	構成比率(%)
株式	情報技術	24.8
	金融	15.3
	生活必需品	15.2
	電気通信サービス	11.5
	資本財・サービス	11.1
	一般消費財・サービス	5.4
	公益事業	5.0
	エネルギー	4.4
	ヘルスケア	1.6

7. スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS〈適格機関投資家限定〉

現時点で入手できる直近の情報として2015年11月16日現在の情報を記載しております。

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2015年3月9日～2015年11月16日)

項目	金額	比率
信託報酬 (投信会社)	61円 (58)	0.63% (0.60)
(販売会社)	(0)	(0.00)
(受託会社)	(3)	(0.03)
売買委託手数料	42	0.43
有価証券取引税	10	0.10
その他費用	23	0.24
合計	136	1.40

期中の平均基準価額は9,678円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■組入ファンド

	当期末	
	口数	評価額
スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド	千口 902,363	千円 830,445

- ・口数・評価額の単位未満は切捨てています。

— <ご参考> スパークス・ワンアジア厳選投資マザーファンド —

■ 1万口当たりの費用明細

(2015年3月9日～2015年11月16日)

項目	金額	比率
売買委託手数料	42円	0.43%
有価証券取引税	11	0.11
保管費用	20	0.20
その他費用	0	0.00
合計	73	0.75

期中の平均基準価額は9,707円です。

- ・期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■ 組入上位10銘柄

(2015年11月16日現在)

	銘柄名称	国/地域	業種	投資比率(%)
1	POWER ASSETS HLDGS	香港	公益事業	4.8
2	AIA GROUP LTD	香港	金融	4.5
3	TELSTRA CORP LTD	オーストラリア	電気通信サービス	3.9
4	TAIWAN SEMICON MAN	台湾	情報技術	3.8
5	TRANSURBAN GROUP	オーストラリア	資本財・サービス	3.8
6	TENCENT HLDGS LTD	香港	情報技術	3.7
7	GUANGDONG INVEST	香港	公益事業	2.8
8	JARDINE MATHESON	シンガポール	資本財・サービス	2.7
9	CHINA STATE CONSTR	香港	資本財・サービス	2.7
10	ZHEJIANG EXPRESS	香港	資本財・サービス	2.7
組入銘柄数			48銘柄	

- ・投資比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価総額の比率です。
- ・「国/地域」には、市場国を表示しています。

■ 国・地域別構成比率

資産の種類	国/地域	構成比率(%)
株式	香港	34.0
	オーストラリア	14.7
	台湾	10.2
	韓国	9.0
	シンガポール	7.9
	フィリピン	3.9
	タイ	3.6
	インドネシア	1.9
	マレーシア	0.8
	投資証券	香港
オーストラリア		1.3
シンガポール		0.8

- ・国/地域は、市場国を表示しています。
- ・有価証券のみを集計対象としています。
- ・構成比率は、親投資信託の純資産総額に対する比率を表示しています。

■ 業種別構成比率

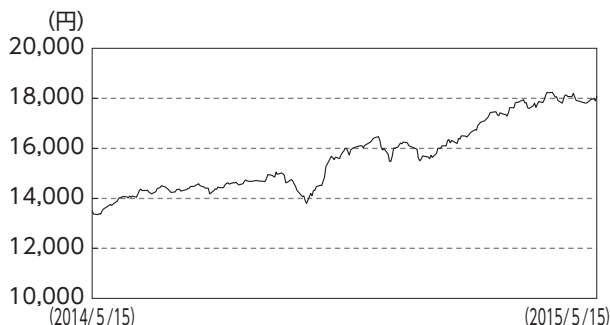
資産の種類	業種	構成比率(%)
株式	資本財・サービス	16.5
	金融	14.5
	一般消費財・サービス	13.9
	電気通信サービス	11.6
	情報技術	10.6
	公益事業	10.4
	生活必需品	5.2
	ヘルスケア	1.8
	素材	1.6
	投資証券	金融

- ・有価証券のみを集計対象としています。
- ・構成比率は、親投資信託の純資産総額に対する比率を表示しています。

8. TMA長期投資ファンド〈適格機関投資家限定〉

現時点で入手できる直近の情報として2015年5月15日現在の情報を記載しております。

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2014年5月16日～2015年5月15日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	81円 (68) (5) (8)	0.513% (0.432) (0.032) (0.049)
(b) 売買委託手数料 (株式)	11 (11)	0.072 (0.072)
(c) 有価証券取引税 (株式)	3 (3)	0.022 (0.022)
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用)	2 (1) (1)	0.016 (0.007) (0.009)
合計	97	0.623

期中の平均基準価額は15,758円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。
- ・売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

■組入ファンド

	当期末	
	口数	評価額
東京海上長期投資マザーファンド	千口 2,254,876	千円 4,230,148

(注)口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

— <ご参考> 東京海上長期投資マザーファンド —

■ 1万口当たりの費用明細

(2014年5月16日～2015年5月15日)

項目	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式会社)	12円 (12)	0.072% (0.072)
(b) 有価証券取引税 (株式)	4 (4)	0.022 (0.022)
(c) その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.007 (0.007)
合計	17	0.101

期中の平均基準価額は16,319円です。

- ・各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。
- ・各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

■ 組入上位10銘柄

(2015年5月15日現在)

	銘柄名称	国/地域	投資比率(%)
1	キーエンス	日本	4.2
2	リンナイ	日本	3.3
3	エア・ウォーター	日本	3.1
4	INTERTEK GROUP PLC	イギリス	3.0
5	ミスミグループ本社	日本	3.0
6	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	2.9
7	ファナック	日本	2.8
8	NESTLE SA-REGISTERED	スイス	2.7
9	日揮	日本	2.6
10	エムスリー	日本	2.6
組入銘柄数		37銘柄	

- ・投資比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

■ 国・地域別構成比率

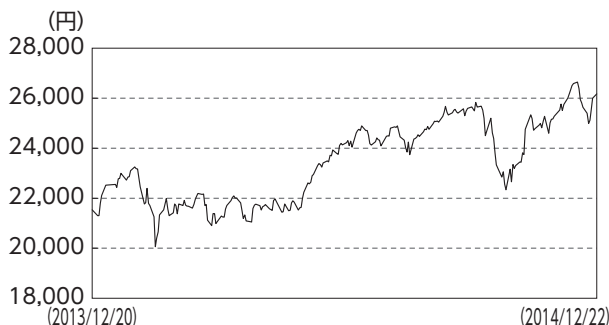
資産の種類	国/地域	構成比率(%)
株式	日本	51.1
	アメリカ	15.4
	デンマーク	4.9
	イギリス	4.6
	スイス	2.7
	フランス	2.6
	香港	2.1

- ・構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。
- ・国・地域は、東京海上アセットマネジメント株式会社の判断に基づいて分類しております。

9. スパークス・集中投資・日本株ファンドS(適格機関投資家限定)

現時点で入手できる直近の情報として、2014年12月22日現在の情報を記載しております。

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2013年12月21日～2014年12月22日)

項目	金額	比率
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	192円 (170) (13) (9)	0.82% (0.72) (0.06) (0.04)
(b) 売買委託手数料	32	0.14
(c) その他費用	4	0.02
合計	228	0.98

期中の平均基準価額は23,555円です。

- ・期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■組入ファンド

	当期末	
	口数	評価額
スパークス集中投資戦略マザーファンド	千口 317,233	千円 904,529

・口数・評価額の単位未満は切り捨てて表示しております。

<ご参考> スパークス集中投資戦略マザーファンド

■ 1万口当たりの費用明細

(2013年12月21日～2014年12月22日)

項目	金額	比率
売買委託手数料	33円	0.13%
合計	33	0.13

- ・期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■ 組入上位10銘柄

(2014年12月22日現在)

	銘柄名称	業種	投資比率(%)
1	T P R	機械	8.2
2	オープンハウス	不動産業	5.2
3	トーセイ	不動産業	4.6
4	太陽ホールディングス	化学	4.3
5	ジャックス	その他金融業	4.2
6	M A R U W A	ガラス・土石製品	4.2
7	日本曹達	化学	4.1
8	武蔵野銀行	銀行業	3.9
9	山洋電気	電気機器	3.8
10	エフピコ	化学	3.8
組入銘柄数		29銘柄	

- ・投資比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価総額の比率です。

■ 業種別構成比率

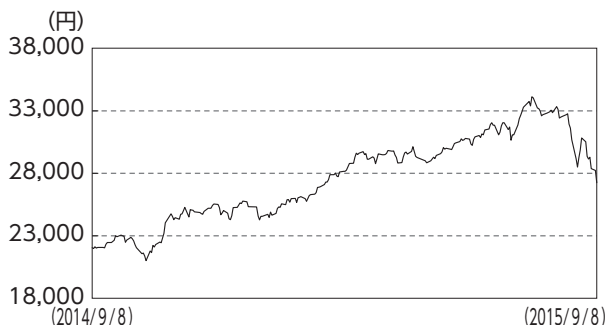
資産の種類	業種	構成比率(%)
株式	化学	24.5
	機械	13.7
	電気機器	12.1
	不動産業	9.8
	食料品	4.6
	その他金融業	4.2
	ガラス・土石製品	4.2
	銀行業	3.9
	石油・石炭製品	3.3
	建設業	3.1

- ・構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

10. スパークス・長期厳選・日本株ファンド(適格機関投資家限定)

現時点で入手できる直近の情報として、2015年9月8日現在の情報を記載しております。

■基準価額の推移



■1万口当たりの費用明細

(2014年9月9日～2015年9月8日)

項 目	金 額	比 率
信 託 報 酬 (投 信 會 社) (販 売 會 社) (受 託 會 社)	241円 (233) (-) (8)	0.87% (0.84) (-) (0.03)
売 買 委 託 手 数 料	16	0.06
そ の 他 費 用	3	0.01
合 計	260	0.94
期中の平均基準価額は27,888円です。		

- ・期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- ・各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- ・各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」と期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第2位未満は四捨五入してあります。

■組入上位10銘柄

	銘柄名称	業 種	投資比率(%)
1	良品計画	小売業	10.1
2	テルモ	精密機器	9.5
3	日本電産	電気機器	9.3
4	キーエンス	電気機器	8.8
5	ソフトバンクグループ	情報・通信業	8.0
6	ミスミグループ本社	卸売業	7.8
7	三菱商事	卸売業	7.5
8	シマノ	輸送用機器	6.7
9	ロート製薬	医薬品	6.6
10	花王	化学	6.4
組入銘柄数		14銘柄	

■業種別構成比率

資産の種類	業 種	構成比率(%)
株式	電気機器	18.1
	卸売業	15.3
	その他製品	12.5
	化学	12.1
	小売業	10.1
	精密機器	9.5
	情報・通信業	8.0
	輸送用機器	6.7
	医薬品	6.6

[Vanguard] (日本語での「バンガード」を含む)及び[tall ship logo]商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

- ・MSCIジャパン・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、日本の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
 - ・MSCIヨーロッパ・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、ヨーロッパの先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
 - ・MSCIパシフィック・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、太平洋地域の先進国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
 - ・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
 - ・MSCIオルカンントリー・ワールド・インデックス(配当込)は、MSCIが開発したインデックスであり、世界の先進国および新興国の株式で構成されています。当該インデックスに関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
 - ・S&P500は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス(S&P DJI)の商品です。この指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、S&P DJI に帰属します。
- S&P DJI は当指数等の情報に欠し、その正確性・妥当性・完全性あるいは入手可能性を保証しません。また、S&P DJI は当指数等の情報の誤り、欠落についてその理由のいかんにかかわらず責任を負いません。また当指数等の使用による結果に対しても責任を負うものではありません。S&P DJI は当指数等の商品性あるいはその使用または特定の目的に対する適合性を含みますが、それに限定されるわけではなく、一切の明示的あるいは黙示的な保証を否認します。S&P DJI はファンドの受益者や他の人物等による当指数等の使用に関連し得る間接的、直接的な、特別なあるいは派生的な損害、費用、訴訟費用あるいは損失(収入の損失、利益の損失、機会費用を含む)について一切の責任を負いません。

本書では、各投資対象ファンドを以下の通りに省略して記載することがありますのでご了承ください。

バンガード米国オポチュニティファンド	→ 米国オポチュニティ
T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージャップ・グロース・エクイティ・ファンド	→ T.ロウ・グロースまたはT.ロウ・プライス米国大型グロース株式ファンド
T.ロウ・プライス・ファンズ SICAV-USラージャップ・バリュエ・エクイティ・ファンド	→ T.ロウ・バリュエまたはT.ロウ・プライス米国大型バリュエ株式ファンド
アライアンス・バーンスタイン SICAV-コンセントレイトッドUSエクイティ・ポートフォリオ	→ 米国株式集中投資またはアライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA<適格機関投資家限定>	→ コムジェスト・ヨーロッパ
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA<適格機関投資家限定>	→ コムジェスト・エマージング
スパークス・ワンアジア厳選投資ファンドS<適格機関投資家限定>	→ スパークス・ワンアジア
TMA長期投資ファンド<適格機関投資家限定>	→ TMA長期投資ファンド
スパークス・集中投資・日本株ファンドS<適格機関投資家限定>	→ スパークス・集中投資
スパークス・長期厳選・日本株ファンド<適格機関投資家限定>	→ スパークス・長期厳選

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。[投資信託/総合部門]の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

「リッパー・ファンド・アワード」に関する情報は、投資信託の売買を推奨するものではありません。リッパー・ファンド・アワードは、過去のファンドのパフォーマンスを分析したものであり、過去のファンドのパフォーマンスは将来の結果を保証するものではないことにご留意ください。評価結果は、リッパーが信頼できると判断した出所からのデータおよび情報に基づいていますが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。

TOPICS：《当社の直接販売の状況 第9期(2014年12月11日～2015年12月10日)》

○ 当期のふりかえり

2014年12月	セゾン資産形成の達人ファンド 純資産総額200億円
2015年 2月	セゾン投信 お客様口座数 8万口座
6月	セゾン投信 お客様口座数 9万口座
11月	セゾン投信 お客様口座数 10万口座
11月	セゾン資産形成の達人ファンド 純資産総額300億円

当期間は好調に伸びた前期間を更に上回り、大きな口座数・純資産総額の成長となりました。

○ 2015年12月10日現在 お客様口座数 101,852件(前期比+32.8%増)

お客様はこの1年間で25,169名増加し、10万件を超える口座数になりました。口座の増加数は、好調だった前期間のほぼ倍の件数になりました。(前期末のお客様口座数76,683件、口座増加数+13,536件)

当期間の特に目立った口座開設動機は「インターネット上の情報」「雑誌、新聞、書籍」「知人・家族からの紹介」となっています。

○ お客様の特徴

年代別では「資産形成層」の30代～40代が59.0%と引き続き大きな割合を占めています。

また女性の割合が前期から2.2%増加しました。

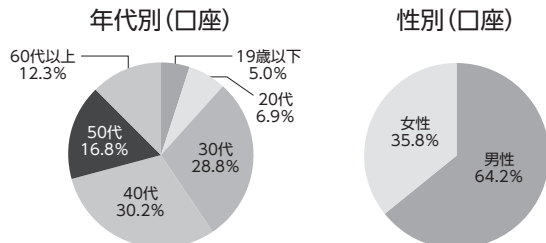
○ ファンドの設定・解約の状況(当社ファンドの合計)

当期間は、設定額が解約額を上回る純資金流入が毎月続き、開業来最多の純資金流入額(+266.5億円(金額ベース))となりました。

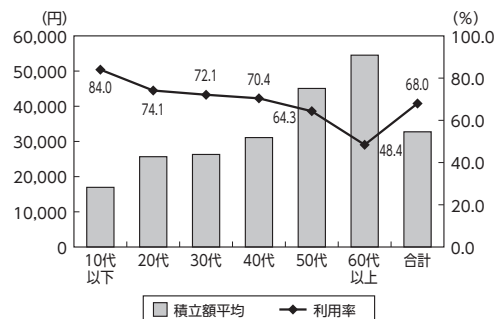
○ 定期積立プラン

当サービスの利用率は前期から3.6%増え68.0%となりました。口座開設の際に定期積立サービスを同時に申し込まれる方が多いこと、すでにお申込みいただいているお客様の多くがサービスを継続して活用されているため、利用率が増加しています。

・定期積立プランは、当社が運用、販売するファンド2種類のいずれか、もしくは両ファンド定期積立サービスをご利用いただいている方を対象としてデータを作成しています。また積立額平均、利用率は2015年12月時点の数値であり、積立額平均は増額月の増額分の金額を含まない平均値です。



年代別(定期積立)



飛躍的に成長した1年となりましたが、これもひとえに皆様のおかげと深く感謝しております。

これからも皆様の期待に応え、共に長期で成長する会社であり続けるため、一つ一つのこだわりを大切に、誠実なサービスの提供に努めてまいります。

- ・お客様の特徴や口座については、保有しているファンドの種類や有無に関係なく当社に口座を開設していただいているお客様を集計したものととなります。
- ・金額については、明記されたものを除き当社が運用、販売するファンド2種類を合計した数値となっています。